

九年丁丑ていちうの春正月はる、橘少卿たちばなせうけい并せて諸もろもろの  
大夫等まへつぎみたち、彈正尹門部だんじやうのあんかどへのおほきみいへ王つどの家に集つどひて宴うたげす  
る歌うた二首

一〇一三番

あらかじめ 君来きみきまさむと 知らしませば 門かどにや  
どにも 玉敷たましかましを

一〇一四番

一昨日をとつひも 昨日きのふも 今日けふも 見みつれども 明日あすさへ  
見みまく 欲ほしき君きみかも

榎井王えのゐのおほきみの、後あとに追和ついわする歌うた一首

一〇一五番

玉敷たましきて 待またましよりは たけそかに 来きたる  
今夜こよひし 楽たのしく思おもほゆ